

東京オリンピック決定！

「千載一遇のチャンス！」

県連盟
の
課題は

- 1, 空手道競技人口の拡大
- 2, 若手指導者の育成
- 3, 財政基盤の確立

山形県空手道連盟 理事長 遠藤 隆夫

このたび開催されました山形県空手道連盟総会におきまして、安達理事長の後塵を拝し理事長に就任致しました。ネットワーク紙面をお借りして一言ご挨拶を申し上げます。

山形県空手道連盟は昨年11月に設立50周年を迎えました。

今日に至るまで、県連盟発展のためご尽力を頂きました諸先輩方に対しまして、心より感謝を申し上げます次第であります。

さて、現在の山形県空手道連盟を取り巻く環境は大変厳しさが感じられます。まず、現代社会が直面している超少子高齢化の波は、空手道競技人口の減少につながりそれがあらゆる面で我々の競技団体にも大きな影響を及ぼしております。

1, 空手道競技人口の拡大 県連盟の喫緊の課題としては、空手道競技人口の減

少に歯止めをかけ、さらに拡大を目指す事です。具体的施策としては平成29年度になりますが、県連盟加盟団体で共同制作した入会募集チラシを、賛同を頂いた支部のエリアに新聞折り込みをしてPRすることです。

どれほどの効果があるかは未知数ではありますが、空手道競技人口増に転じるまで、事業本部直轄事業として当面継続してまいりたいと思っております。

2, 若手指導者の育成 次に、指導者の育成問題であります。年々県連盟加

盟団体指導者の高齢化が進んで来ております。次代を担うジュニア選手の指導には若手指導者の育成が急務であります。

県連盟としては、指導者育成の一環として平成29年度、日本体育協会上級指導員養成講座を主催すべく、山形県体育協会、及び全空連に働きかけを行っております。

3年前に県連盟が指導員養成講座を主催して、参加者全員が資格を取得した訳ですが、さらにその上の上級指導員の資格がないと、地区形審判の受審資格や、国体、全日本選手権の監督・コーチ資格の阻害要因になっております。現代社会はあらゆる分野で資格社会であると言っても過言ではないと思います。県連盟としては、日体協の資格のみならず、全空連公認段位、全国・地区組手審判員、形審判員資格取得に挑戦出来るような環境を創って行きたいと思っております。

3, 財政基盤の確立

次に、**県連盟財政基盤の確立**という問題であります。

県連盟の財政については、団体登録料、役員負担金、大会協力金などが主なものです。しかしながら、現在の収入でジュニア育成、選手強化、国体や全日本選手権の選手派遣費を捻出するのは難しい状況であります。

さらに今年は、岩手県の国体開催や秋田県の実業団選手権開催で協賛金が発生しており、県連盟の財務内容は大変厳しい状況にあります。次年度より県連盟の財務体質改善のため、抜本的な改善策が必要ですが、各位の英知を結集して乗り越えていきたいと思っております。

最後になりますが、今年8月4日IOC総会において空手が2020年東京オリンピック追加種目として正式決定しました。本県からオリンピック選手を輩出させるのが目標ではありますが、男女合わせて8種目8名の代表枠に入るのは現実的に甚だ難しい事であると思っております。

しかしながら、これからマスコミでは空手という競技を大きく取り上げるはずであり、**空手がメジャーになり、競技人口が増える千載一遇のチャンス**であると思っております。県連盟としてはこれを逃さず県連盟発展に結び付けて行きたいと思っております。

道場紹介



全日本空手道連盟 糸東会

遠藤道場

空手を通して地域に貢献できる人を育てる！

道場紹介

道場名：遠藤道場

代表：遠藤隆夫

指導者：2名

会派：全日本空手道連盟糸東会

会員数：60名

(一般10名、幼児～中学生50名)

設立：1980年

(2006年現在の道場に移転)

稽古日：原則として月・木

(指導者の予定で稽古日は変更します)

稽古時間：17時～22時30分(5クラス)

強化練習日：試合の1か月前から週2日～3日を追加

稽古場：長井市高野町二丁目 10-36 0238-84-5782



Q：指導する上で心がけている事は？

どうしても選手に主眼を置きがちですが、試合に出場する選手と出場しない道場生を公平に指導することです。

Q：練習内容は？

形と組手どちらも出来ないと言った空手道を修業したことにはならない。形は平安初段～五段を全て教えた後にほかの形に入ります。中学生～一般には形の分解も指導します。形の意味が解らないで演武するのは、単なる「空手踊り」で形を習得しとは言えません。特に糸東流は形の種類が多いのですが、全部を指導するのは無理なので、年齢や道場生の能力に合わせて15～20の形を指導します。

Q：道場生の構成はどうなってますか？

幼年から中学生までが約50名、高校一般が10名です。最近特に女の子が増えており、全体で25名が女子です。

Q：今後の抱負？

過去に東北を制した選手は数名いるが、全国に行くと歯が立たない！
全国の壁を破ることが目標です。

Q：自宅が道場のメリットは？

稽古日を気にすることがなく、指導者のペースで稽古が出来ます。また、初心者から一般まで能力に応じたクラス編成が出来ます。通常の稽古は現在5クラスで、強化練習も組手の部と形の部に分かれて行います。

Q：現在道場の悩みは？

指導者不足につきます！
これ以上道場生が増えるときめ細かな指導が出来なくなる恐れがあります。